

CMS特別仕様の中堅中小企業向けサーバホスティングサービス

WEXAL[®] CMSサーバ

CMS（動的Webサイト）のために最適化された、中堅中小企業向けサーバホスティングサービス

「WEXAL[®] CMSサーバ」は、CMS（動的Webサイト）のために設計・構築された、中堅中小企業向けサーバホスティングサービスです。

WEXAL CMS server

Point 1

CMS仕様に最適化されたサーバ構成で、数倍～最大10倍程度のパフォーマンスを発揮

Point 2

御社専用仮想サーバで、高コストパフォーマンスと将来のコストロス防止を実現

Point 3

高信頼性・高安定性の国産サーバを、堅牢なデータセンター内で運用。

Prime Strategy



CMS(動的Webサイト)特別仕様の中堅中小企業向けサーバホスティングサービス

WEXAL[®]CMSサーバ

Webブラウザでの表示はだいたい2秒以上。
もうちょっと速くないと、ユーザーが逃げ
ちゃうじゃないか心配だ。

ブラウザ表示に時間がかかる…

CMSはデータベース連動型のWebアプリケーション。
データとシステムが複雑に絡み合っているため、表示
の問題は悩みの種となりがちです。インターネット環境
が良好な日本では、特にWebサイト自体の重さが目立
ちます。ユーザビリティのためにも、ぜひ対策しておき
たいところです。

CMSサイトに新しいシステムを組み込もうとしたら、なぜかうまく
いかない。見積もりの額も開発期間も、予想以上…。

システムの拡充が困難…

サーバOS、開発言語、Webサーバプログラム、データベース等が
汎用的な組み合わせではない場合、システムの拡充の際には困
難を伴います。サーバの運用に制限事項が多い場合も同様です。

CMSでコンテンツを編集。でも保存ボタンを押して3秒以上たた
ないと反応しない。最近、なんだか編集が面倒になってきた…。

CMS(動的Webサイト)には、 CMS用サーバをおすすめします。

「今使っている格安レンタルサーバーでも動くんじゃないの？」
と思って導入したら、今になって、うまくサイ
トが動かないことがわかってきた。

「使えない」のを運用段階で実感した…

世の中に出回っているサーバは金額も性能もさまざま。安価なサー
バは制限事項やスペックに要注意。必要な機能を管理者権限で操作
できなかったり、OSが古かったりとCMS(動的Webサイト)の構築やシ
ステムの拡張に支障が出ることも少なくありません。運用してみて初
めて不便さを実感することも。

万一サーバが壊れても大丈夫のように、データは保存
してある。でも本当にそれで十分なのかな？

データの損失が心配…

CMS(動的Webサイト)は、システムやモジュール、OS、
ハードウェアが複雑に絡み合って動作しています。
そのため万一サーバが壊れた場合、Webのデータ
(XHTML+CSS、画像等のデータ)だけでは、完全な
復旧は困難です。

金曜夜中の停電で、土日の間、ずっとWebサイ
トがとまっていたらしい…。

運用環境に不安が残る…

御社のサーバ運用環境は、停電・熱・地震・水害・
盗難・故意の破壊にも万全の体制ですか？

FTP接続は便利だよね。でも「安全ではない」ってホント？

セキュリティは大丈夫？

ローカル環境からサーバへ転送する情報の中に、非公開の重要情報
などは含まれていませんか？

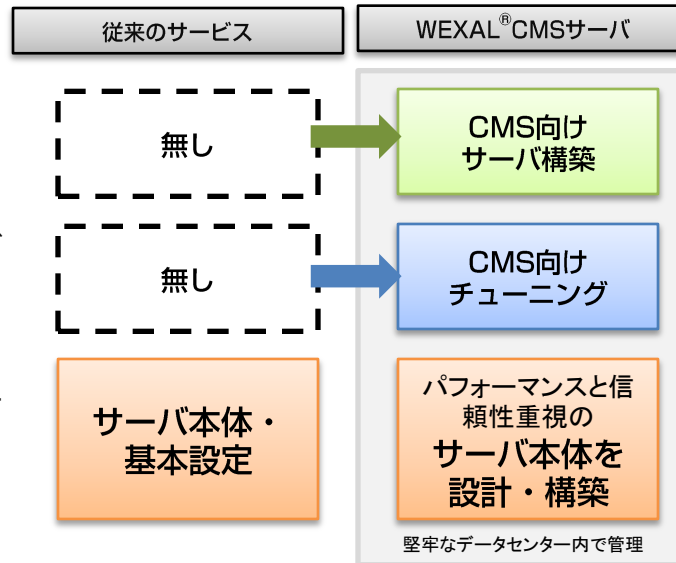
データ転送にFTPを標準で使用していたら要注意。FTPでは、ユーザ一
名・パスワードを含むすべてのデータが、そのままの状態(平文・ひらぶ
ん)でインターネット上を流れます。不必要なポートは極力使わず、安全
な方法での転送を。

CMS（動的Webサイト）のためのサーバ選択

多くの中小中堅企業サイトが、CMSやDB（データベース）等からなるWebシステムを含んだ動的なものへと変化を遂げつつあります。サーバへの負荷も従来の10倍以上に高まっています。このような状況において、快適なコンテンツ閲覧をユーザーに提供できることが、従来よりもますます求められるようになりました。そこで開発されたのが、CMS特別仕様の中堅中小企業向けサーバホスティングサービス「WEXAL®CMSサーバ」です。

WEXAL®CMSサーバとは？

運用環境・ハードウェアの選定や構成、サーバOS・各種アプリケーション・モジュール等にいたるまで、CMS（データベースなどを利用したWebシステムなどの動的Webサイト）の運用を前提として、最大のパフォーマンスが得られるように設計・構築されたサーバのホスティングサービスです。



Webシステムの活用を支える、WEXAL®CMSサーバの「3つの特徴」

① CMS仕様に最適化されたサーバ構成で、数倍～最大10倍程度のパフォーマンスを発揮

・CMS仕様のサーバ構成・チューニング。モジュールも標準実装

CMS（動的Webサイト）のパフォーマンスを最大限発揮させるために、各種キャッシュシステムの導入・チューニング、データベース等のWebシステムを高速に動作させるためのチューニングモジュールの追加、CPUやメモリ割り当ての最適化などを行っております。もちろんセキュリティにも十分配慮されています。WEXAL®CMSサーバでは、こうしたCMSをはじめとする動的Webサイト運用に必要なサーバ構成が標準で実装されており、新たにサーバアプリケーションやモジュール等を追加する必要がほとんどありません。

・数倍から最大10倍程度のパフォーマンスを発揮

そのため、例えばCMSによる動的ページ生成等においては、運用開始当初より、一般的な同スペックのハードを搭載したサーバに比べて、数倍から最大10倍程度のパフォーマンスを発揮します。

② 御社専用仮想サーバで、高コストパフォーマンスと将来のコストロス防止を実現

・最新鋭のサーバ仮想化技術により、VPSのメリットを最大限に享受

WEXAL®CMSサーバでは、快適な動的サイト運営にとって最適なサーバを構築するために、最新鋭のサーバ仮想化技術を用いて、仮想化のメリットを最大限に活用しています。

・高コストパフォーマンス

通常、一般的なレンタルサーバをWEXAL®CMSサーバと同等の状態となるまで構成するためには、多くの時間とコストが必要になります。WEXAL®CMSサーバでは仮想化技術を活用し、最適構成のサーバを短時間で構成することが可能なため、リーズナブルな価格でのご提供が可能となっています。またWEXAL®CMSサーバではIPアドレスが標準で個別に割り当てられますので、同一ドメインでのSSL運用（暗号化通信）が可能です。バーチャルホストの設定で複数のWebサイトを運営できる点などをはじめ、その他多くの利点があります。

・不要なコストを発生させない

WEXAL®CMSサーバはWebアプリケーションに最適のLAMP環境（Linux, Apache, MySQL, PHP・Perl）。事後の拡張等も容易なため、不要な手間やコストを発生させません。またサーバを稼働させたままの状態でも、ファイルだけではなく設定やログ、メモリにいたるまでのすべてを完全に、物理的に離れたバックアップ専用サーバへ保存できるのは、仮想サーバを用いたWEXAL®CMSサーバならではのメリット。万一のトラブルの際もかなりの程度までの復旧が可能、通常起こりがちな「動的Webサイトの構築し直し」を防げます。

③ 高信頼性・高安定性の国産サーバを、堅牢なデータセンター内で運用。

・信頼の国産サーバ、RAID1+HotSpareによるHDD冗長化構成でさらに安心

サーバ本体についても、セキュリティとパフォーマンスに配慮されたネットワーク構成、WEXAL®CMSサーバのパフォーマンスを支える基本スペック構成、RAID1+HotSpareによるハードディスクの冗長化構成、目的や規模に応じた事後の拡張も十分に行える国産（NEC）の高性能機種を採用したハードウェア構成等、十分に選び抜かれたきめ細やかな仕様となっています。

・24時間365日無停電の堅牢なデータセンター内で管理

WEXAL®CMSサーバは、東京都内にある日本屈指のデータセンター内に設置されています。24時間365日の無停電設備、一定温度を常に保つ十分な空調、強度の耐震構造、3重のセキュリティ等、最新設備を備えた、最高のサーバ運用環境となっています。

CMS（動的Webサイト）のための、きめ細やかな実装の数々

最高のパフォーマンスを発揮させるサーバ構成

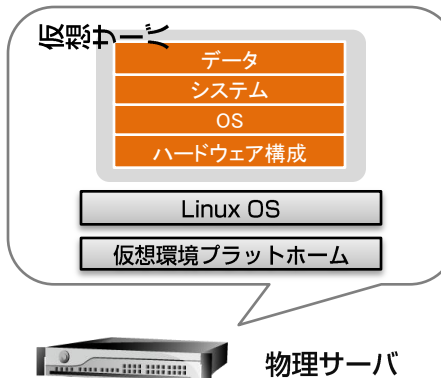
運用環境、ハードウェアの選定や構成から各種キャッシュシステムの導入・チューニング、データベース等のWebシステムを高速に動作させるためのチューニングモジュールの追加、CPUやメモリ割り当ての最適化…。

CMS（動的Webサイト）に最高のパフォーマンスを発揮させるため施策の一部をご紹介します。



WEXAL[®]CMSサーバの構築ガイドラインは約80項目、100ページ以上に及びます。

仮想サーバのイメージ図



【全般的なパフォーマンス維持・向上のために】

- ・メリット多大な仮想サーバ上で運用
 - サーバ仮想化 (Server Virtualization) とは、1台の物理的なサーバ上に仮想化基盤を用意し、複数の仮想サーバを配備・稼働できるようにするサーバ構築手法です。物理サーバとほぼ同様のパフォーマンスを発揮し、数多くのメリットを有することで注目されている最新の技術です。
 - WEXAL[®]CMSサーバでは、快適な動的サイト運営にとって最適なサーバを構築するために、最新鋭のサーバ仮想化技術を用い、さらにCMS（動的Webサイト）の安定性確保・パフォーマンス向上のために再構成して、仮想化のメリットを活用しています。

【高速化のために】

- ・ApacheにおけるKeepAlive設定の有効化および最適化
- ・Apacheにおける子プロセス数の最適化
- ・Apacheにおけるロードモジュールの最適化
- ・MySQLにおけるクエリキャッシュの最適化
- ・MySQLにおける割り当てメモリ量の最適化
- ・MySQLからSennaモジュール (mecabまたはN-gram方式) の利用による日本語全文検索への対応
- ・PHPIにおけるPHPアクセラレータ (APCまたはeAccelerator) の採用による、PHP中間コードのキャッシュおよびメモリ割り当ての最適化
- ・PHPおよびApacheにおけるmod_phpモジュールの採用による高速動作
- ・CMS用途に十分なメモリの割り当て (プランによる)
- ・CMS用途に十分なコアの割り当て (プランによる)
- ・仮想サーバへの実メモリの全面割り当て (ホストのswap用ハードディスク領域等一切のファイルを使用しない) および仮想サーバによるメモリ専有 (仮想サーバ間でのメモリ共有の禁止設定)
- ・100Mbps共用の高速回線を使用

【安定性確保のために】

- ・最新鋭設備のデータセンターによる厳重な管理
 - 24時間365日無停電、常に一定温度を保つ十分な空調、強度の耐震性、耐水性、3重のセキュリティ等、最新設備の整った日本屈指の都内データセンターで御社のサーバを管理します。
- ・障害時のためのバックアップ用回線を配備、迅速な対応が可能
- ・利用データセンターは東京23区内、データセンター内での障害時にも迅速な対応が可能
- ・国産サーバの採用 (可能な限り低消費電力パーツにより構成)
 - サーバの目的により常に高い稼働状態にあるサーバにも十分なパフォーマンスを発揮できるよう、信頼性・安定性の観点から国産サーバ (NEC) を選択しました。Webサイトやデータベースの活用にはHDD容量やメモリ容量も潤沢に必要となります。ご要望にお応えできるよう十分なスペックを準備しております。
- ・CPUにIntel Xeon[®]を採用
- ・低消費電力のHDDを標準採用
- ・RAID1+HotSpareでハードディスクを冗長化
 - 物理サーバは、RAID1+HotSpareのハードディスク冗長化構成です。不意のハードディスク故障時にもサーバを動かし続けることができ、さらに故障したハードディスクにかわって自動的に予備のハードディスクが補填され、安定した稼働状況を保ちます。
- ・Linuxのファイルシステムとして、ジャーナリング機能付きのext3を採用
- ・仮想サーバ上での運用により他社からの影響を受けにくい
 - WEXAL[®]CMSサーバでは御社専用の仮想専用サーバをご提供します。共用サーバとは異なり、他社サーバの影響 (他社が負荷の大きなサービスを提供しているために、こちらまで重くなってしまう、他社サーバに対する検索エンジンからのペナルティをこちらまで被ってしまった等) を受けにくい構造となっています。仮想専用サーバは1台の物理サーバを他社と共有していますので、親サーバのハードウェアを共有しているという点でまったく影響を受けないわけではありませんが、企業サイト等、通常から小規模のアクセス頻度・システム運用状況なら、ほとんど感じられない程度となります。個別のIPが割り当てられるため、検索エンジンからのペナルティなども受けづらくなっています。
 - なおまるごと1台物理サーバモデルをご利用いただいた場合には、他社の影響を受ける度合いがさらに減少します。その他アクセス頻度、サイトの目的等に応じてご選択ください。
- ・弊社独自のビルドシステムを採用し人的ミスを極力排除
 - サーバ構築時に弊社独自のビルドシステムやテンプレートを使用し、人の手が介在しなければならぬところを最小限にしました。これにより人的な設定ミス、設定漏れを極限まで排除することが可能となっています。

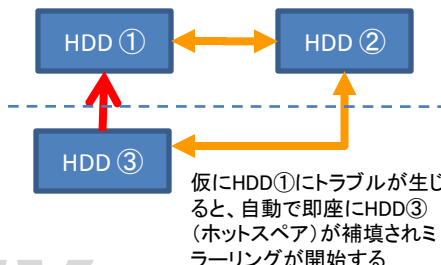
RAID1とは？

RAID (レイド。Redundant Arrays of Inexpensive Disks) とは、複数のハードディスクを1台として管理する技術をいいます。RAIDには安全性・高速度によってレベルがあります。RAID1 (レイド・ワン) はその一つです。ミラーリングともよばれ、2台のハードディスクに同内容の書き込みが行われます。これにより1台が破損しても、まったく同内容のもう1台からデータを復旧させることができます。

WEXAL[®]CMSサーバでは、これにHotSpareを1つ加えた構成となっています。HotSpareとは、ハードディスクが破損したときに、自動でハードディスクが補填されるものです。つまり3台のハードディスクを1台分として使用する、大変堅牢な構成となっています。

RAID1+HotSpare

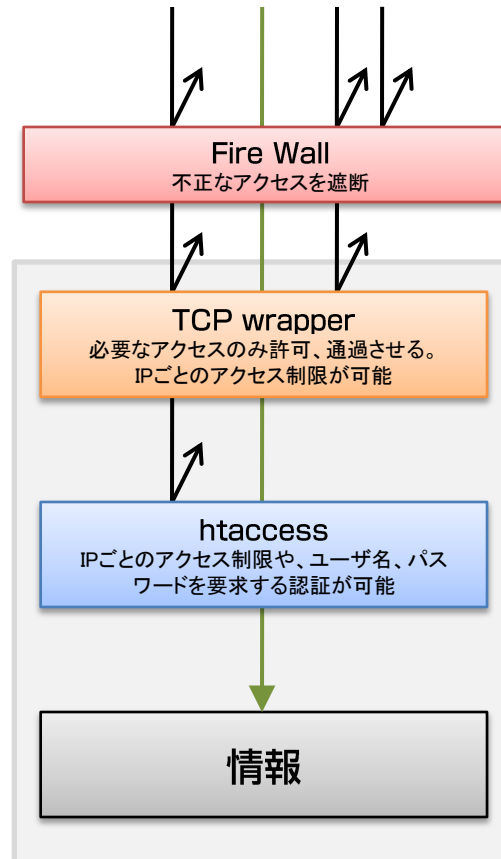
同時に同内容の情報が2台のHDDに書き込まれる (ミラーリング)



※3台のHDDを1台分とする冗長化構成



多段階アクセスコントロール



【セキュリティ確保のために】

- ファイアーウォール、TCPwrapper、htaccessによるIP制限等の多段階アクセスコントロールを実装
セキュリティホールとなりがちな各種ポート、たとえばサーバを直接制御することができるSSHや、
その他サーバに入り込まれやすいポートは、ファイアーウォールにより必要最小限しか開けません。
また未公開情報も扱われるCMSの管理ページでは、SSLのほか、基本認証をかけておき、アクセスされたときにパスワードを要求するようしておく、より安心です。さらにIP制限を行えば限定されたIPだけが、アクセスできるようになり、高いセキュリティを確保することができます。
- 不要なOS付属のサービスのデフォルト起動OFF設定
OSに付属するサービスのうちサーバ用途では通常使用しないもの (bluetooth、cups、gmp、hidd、
hplipその他) を、デフォルトでは起動しないよう設定
- FTPの厳格な管理
IP制限、OS内部への侵入予防等の措置を講じた上で、どうしても必要なユーザだけにFTPを解放します。
- SSH対応
ローカル環境～サーバ間のデータ転送には、winSCPやWebDrive等、SSH接続での利用が可能です。
データが暗号化された状態でインターネット上を流れるため、安全に作業を行うことができます。
- SSL対応
Webサイトの活用が課題となっている昨今では、たとえば「会員ページ(登録情報・申し込み状況・
利用履歴…等)」「申し込み」「問い合わせ」「見積もり」などの個人情報や企業機密を扱うページな
どがますます増えてきています。またCMSの管理ページでは企業の未公開情報が扱われることも
少なくありません。こうしたWeb上のあるいはWebで入力された情報は、通常、そのままの状態
(「平文(ひらぶん)」)でインターネット上を流れます。
WEXAL[®]CMSサーバでは、暗号化通信の仕組みであるSSLの設定がもちろん可能です。この設定
により、すべての情報が暗号化された状態でインターネット上を流れます。企業サイトが個人情報
を扱う場合に、必須といえるでしょう。

【拡張性保持・向上のために】

- 仮想サーバ上での運用による拡張が容易な構成
仮想サーバ上での運用により物理サーバと比較して拡張が非常に容易です。サーバを停止させ
ることもなく、かつ、ご依頼を受けてから最短で10分程度でハードディスク容量を増やすことも可能
です。仮想サーバの方が圧倒的にコストと時間の浪費を減らすことができます。「まるごと1台物理
サーバモデル」をご利用いただいた場合も、拡張の容易さは同様です。運用は物理サーバ内に構
築した仮想サーバ(「まるごと1台物理サーバモデル」では初期に4台まで搭載)上で行われます。

【安心活用のために】

- 「サーバまるごと」「バックアップ専用サーバへ」「無停止で」のバックアップが可能
サーバ内ではシステムが複雑にからみあって稼働しています。万一の復旧時に、たとえファイルだ
けを戻したとしても、システムが適切に復元され、設定も元の通りとなり、必要なサーバサービス
や設定も復元されなければ、元通りには稼働しません。
WEXAL[®]CMSサーバは、専用のバックアップサービス「WEXAL[®]サーバまるごと安心バックアップ」
のご利用が可能です。サーバまるごとを物理的に独立したバックアップ専用サーバへバックアップ
できるため、完全な状態へ復旧することも可能です。無停止でのバックアップも選択できるので、
時間的な不整合等を極力防ぐことができます。

【管理コスト削減のために】

- HTTPSとHTTPの公開ディレクトリが同一
WEXAL[®] CMSサーバでは、HTTPSでアクセスされるディレクトリがHTTPのディレクトリと同一に設
定されています。このため、CMSに複雑な設定を施す必要がありません。また、CSS、画像ファイル
のバージョン管理を一元化できるなど管理コストを大幅に削減できます。もちろんオプションにて
別ディレクトリとして設定することも可能です。

サーババックアップとは？

文字通りサーバのデータ保存ですが、1.保存対象、2.保存場所、3.保存の際のサーバ状態について、各社により意味合いが異なります。

1.保存対象

通常は、指定されたデータ領域内(Linuxでいうと/home/の中のユーザーディレクトリ以下)となります。

しかしCMS(動的Webサイト)はデータ領域のほか、システム領域、OS等が複雑に連関して動作しているため、万一のサーバ故障時の復旧にこれでは不十分です。サーバまるごとの保存が理想ですが、一般的なバックアップサービスでは対応していません。

2.保存場所

通常は保存対象と同一のハードディスク内や、同一マシン内の別ハードディスクに保存されます。

しかしサーバ故障時にハードディスクの読み取り機能が失われると保存したデータを読み出せません。バックアップ専用サーバへ、安全なネットワーク回線を用いて定期的にバックアップするのが望ましいでしょう。

3.保存の際のサーバ状態

通常は「非同期・無停止」または「同期・完全停止」のどちらかでバックアップが行われます。

前者の場合にはデータの整合性が保証されません。

後者の場合にはデータの整合性は保証されてもサーバを停止させねばなりません。

望ましいのはデータの整合性が保証され、かつ無停止でのバックアップが可能であることです。

※WEXAL[®]CMSサーバのバックアップに関する詳細は「WEXAL[®]サーバまるごと安心バックアップ」パンフレットをご覧ください。

WEXAL®CMSサーバの2モデル

CMS特別仕様サーバホスティングサービス「WEXAL®CMSサーバ」では、ご提供形態としてまるごと1台物理サーバモデルと仮想専用サーバモデルの2モデルをご用意しております。運用するWebサイトの性質や規模に応じて、最適なプランをご選択ください。

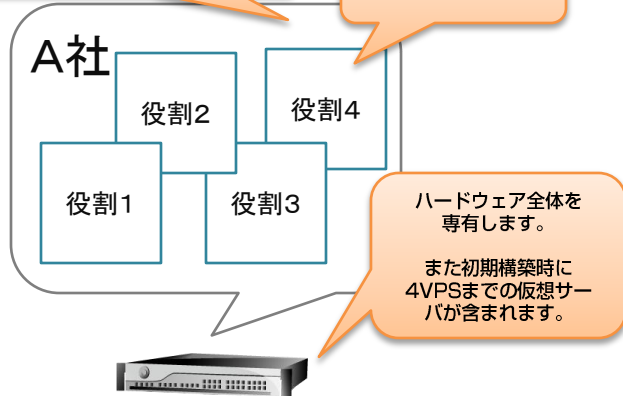
WEXAL®CMSサーバ まるごと1台物理サーバモデル

ご提供形態：物理専用サーバ1台+仮想サーバ（4台まで）

1つのサーバハードウェアを完全に専有する、物理専用サーバ（＝Dedicated Server）タイプのモデルです。4VPSまでの仮想化に標準で対応しており（ご要望により）、サーバ導入時には、即座に複数の仮想サーバでWebサイト等の運営を開始することが可能です。異なるドメインで複数のSSL（暗号化通信）を運用することもできるため、パフォーマンスやセキュリティ等が重視される場合や中規模の複数サイトを運営する場合、また一定のアクセス規模のあるサイトを運営する場合に最適なプランです。

丸ごと1台の物理サーバを占有。

初期に4台までの仮想サーバ



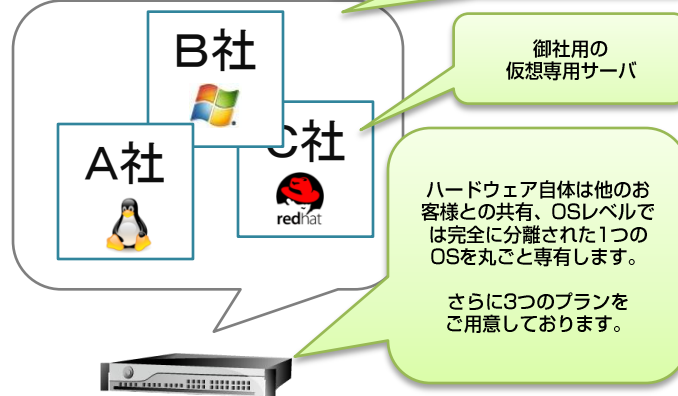
ハードウェア全体を専有します。
また初期構築時に4VPSまでの仮想サーバが含まれます。

WEXAL®CMSサーバ 仮想専用サーバモデル

ご提供形態：仮想専用サーバ

サーバハードウェア自体は他の複数のお客様と共有し、仮想化されたLinux OSを専有できる仮想専用サーバタイプのモデルです。ハードウェアリソースを共有する点での影響は多少はあるものの、仮想化されたOS同士は論理的に完全に分離されているため、仮想サーバ同士の影響（他のお客様の仮想サーバ上で実行されたプログラムにより他の仮想サーバがハングアップする等）は非常に限定的です。またIPアドレスが個別に割り当てられるため、同一ドメインでのSSL運用が可能など、パーチャルホストの設定により複数のWebサイトを運営できる点など多くの利点があります。

物理サーバ（他社が同居）



御社用の仮想専用サーバ

ハードウェア自体は他のお客様との共有、OSレベルでは完全に分離された1つのOSを丸ごと専有します。

さらに3つのプランをご用意しております。

		まるごと1台物理サーバモデル	仮想専用サーバモデル
選択の基準		<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上のCMSサイト（動的Webサイト）を複数サイト運営したい場合（メインサイトのほか、リクルート用サイト、IR情報サイト、社内用サイト 等） ・一定のアクセス規模がある場合（ニュースサイト、ポータルサイト 等） ・特にパフォーマンスやセキュリティを重視したい場合（官公庁・公的機関サイト、中規模以上のECサイト 等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小規模でシステムが複雑ではないCMSサイト（動的Webサイト）を運営したい場合 <p>※なおデータベース等のシステムを用いた動的サイトの場合は、Basicプラン以上を推奨します。</p>
メリット	提供形態	まるごと1台の物理サーバ（仮想サーバ4台までを含む）	仮想専用サーバ
	専有の範囲	ハードウェア全体を専有。複数仮想サーバの運用が可能。	単一仮想サーバ。OSを専有。
	取得可能なIP数	4IP（複数サイトや社内サイト等の運営にも便利）	1IPまたは2IP（個別IPの割り当てあり）
	SSL（暗号化通信）	異なるドメインで複数SSLの運用が可能	SSLの運用が可能
	バックアップ	システムの設定、OSやハードウェアの設定等を含めた、仮想サーバまるごとのバックアップが可能。 ※将来的なサーバ移行の際には、従来に比べ約10分の1以下（弊社従来比）の時間・コストで済むため、安心して十分にサーバを活用できます。	
セキュリティ	高いセキュリティと高いパフォーマンス	比較的高いセキュリティと良好なパフォーマンス ※従来型サーバや共用サーバ等と比較した場合には格段に高いといえます。	
デメリット		仮想サーバより値段の絶対額がやや高 ※ただし中長期観点でのコストパフォーマンスはこちらのほうが上。	ハード自体は共有となり、OSは1つに限定される



WEXAL®CMSサーバ 各種プランの基本サービス

各プランの内容は以下の通りです。「まるごと1台物理サーバモデル」以上のスペックや複数の専用サーバを用いた構成、より高速な回線のご利用その他のカスタマイズに関しては別途ご相談ください。サーバ移転または各種サーバ環境構築が必要な場合も別途お見積もりいたします。
(※印はオプションです。オプションの詳細は次項「WEXAL®CMSサーバ各種プランのオプションサービス」をご参照ください。)

モデル名 プラン	まるごと1台 物理サーバモデル	仮想専用サーバモデル			
		Standard	Basic	Lite	SOHO
初期費用	200,000円 (税込210,000円)	50,000円(税込52,500円)			
月次費用	60,000円 (税込63,000円)	35,000円 (税込36,750円)	25,000円 (税込26,250円)	15,000円 (税込15,750円)	9,000円 (税込9,450円)
サーバ構成	CMS(データベース連動型Webアプリケーション)仕様 ※東京都内データセンター(24時間365日無停電・耐震設備・3重のセキュリティ)で管理。 ※100Mbps共用の高速回線を使用。				
提供形態	物理サーバまるごと1台 ※ご希望により初期構築時4VPSまで標準で ご用意いたします。	仮想専用サーバ(VPS)1台			
HDD容量 (データ領域)	1TB	100GB(約95GB)	60GB(約55GB)	20GB(約15GB)	10GB(約5GB)
最大拡張時のHDD容量	-	500GB	500GB	100GB	100GB
メモリ	4GB	2GB	1GB	512MB	256MB
ドメイン ※	複数ドメインの設定が可能				
IP	4 IP	2 IP	1 IP	1 IP	1 IP
DNSサーバ設定	10	4	2	1	1
	※別途の追加はオプションとなります。 1ゾーン(ドメイン)につき500円(税込525円)/月				
CPU	Intel Xeon 3.0GHz Dual-Core	Intel Xeon 2.33GHz Quad-Core × 2			
	2コア専有	2コア共有	2コア共有	1コア共有	1コア共有
SSL ※	可 ※詳細は別紙資料「ドメイン・SSL価格一覧」をご覧ください。				
SSLサーバ ※	OpenSSL				
バックアップ ※	「サーバまるごと」を「バックアップ専用サーバ」へ「無停止」でバックアップできるサービスが利用可能。 ※詳細は「WEXAL®サーバまるごと安心バックアップ」パンフレットをご覧ください。				
HDD構成	RAID1(HDD×2)+Hot Spare(HDD×1)による3重の冗長構成				
仮想化基盤	VMware Server 2				
OS	CentOS 5.3 64bit (Linux)				
Webサーバ	Apache2.2				
データベース	MySQL5.0				
言語	PHP5, Perl5				
全文検索モジュール	Senna (分かち書き方式はmecabまたはN-gramを利用可能)				
PHPアクセラレータ	APC または eAccelerator				
サポート	平日9:00-18:00 (お電話にて対応いたします)				

LAMP環境

Prime Strategy



WEXAL[®]CMSサーバ各種プランのオプションサービス

モデル名	まるごと1台 物理サーバモデル	仮想専用サーバモデル			
		Standard	Basic	Lite	SOHO
HDD容量の追加	-	1GBあたり500円(税込525円) / 月 ※10GB単位でのご契約となります。			
ドメイン取得代行・管理 (1ドメインにつき)	【.co.jp】15,000円(税込15,750円) / 年	【.jp】7,500円(税込7,875円) / 年	【.com .net .org .info】3,000円(税込3,150円) / 年	※その他お問い合わせください。	
SSL取得・設定・管理 (1ドメインにつき)	1ドメインにつき 20,000円(税込21,500円)～300,000円(税込315,000円) / 年 ※証明書の種類(VeriSign、セコムその他)等により異なります。				
メール※	※内容、プラン、ご利用料金その他詳細は「WEXAL [®] ポリシーメールサーバ」パンフレットをご覧ください。 ※共用サーバでは1アカウントにつき500円(税込525円)～1,000円(税込1,050円) / 月、 10アカウント単位でのご契約となります。				

WEXAL[®]シリーズのご紹介

WEXAL[®]CMSサーバ ※当パンフレットのサービスです。
CMS(動的Webサイト)のために最適化された、CMS特別仕様のサーバホスティングサービスです。

WEXAL[®]サーバまるごと安心バックアップ ※詳細は「WEXAL[®]サーバまるごと安心バックアップ」パンフレットをご覧ください。
「サーバまるごと」を、運用中のサーバとは別個独立の「バックアップ専用サーバ」へ、「無停止」で保存できる、CMS(動的Webサイト)の運用にとって理想の、従来のバックアップと次元を異にする新しいサービスです。※WEXAL[®]CMSサーバおよびWEXAL[®]ポリシーメールサーバ専用のサービスとなっております。
※詳細は「WEXAL[®]サーバまるごと安心バックアップ」パンフレットをご覧ください。または下記までお問い合わせください。

WEXAL[®]ポリシーメールサーバ ※詳細は「WEXAL[®]ポリシーメールサーバ」パンフレットをご覧ください。
毎朝の迷惑メール処理でお困りのみなさまへ。WEXAL[®]ポリシーメールサーバで、毎朝30分の迷惑メール処理を1分に。朝イチから仕事に集中できるようにしませんか？
WEXAL[®]ポリシーメールサーバは、迷惑メールを平均98%超までカットし、正常メールは確実に受信・確実に送信するために設計・構築された、法人向けメールサーバホスティングサービスです。

【特長】

- ・迷惑メールを平均98%超まで排除可能 ・受信の不着は1/10,000以下
- ・暗号化通信と認証で二重のセキュリティ対策 ・アカウント管理はWebブラウザで簡単
- ・IMAPもデータバックアップで安心活用

※ サービス内容等は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



プライム・ストラテジー 株式会社
〒105-0022
東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング 3F

こちらまでお気軽にご相談ください。

お問い合わせ・お見積もり専用ダイヤル
TEL. 03-5776-0406

※受付時間 8:45～18:00 (月～金、祝日)
メール : staff@prime-strategy.co.jp
URL : <http://www.web-strategy.jp>
FAX : 03 - 5776 - 0439